

令和7年度 BIMライブラリ技術研究組合 (部会2・BLCJ)活動 (中間報告)

建築BIM推進会議2025/12/24



R7年度の活動について

- 本年度は技術研究組合としての研究活動の7年度目である。
- R7年度の研究活動は、
 - ①BIMオブジェクト標準を拡充・整理し、標準Ver.2.1として公表
 - ②既存の試験研究を総括報告書として整理
- R7予算での「建築BIMによる設計環境整備調査」については、新たにタスクグループを立ち上げ、調査業務を実施している。
- 上記の調査業務と試験研究とは、整合性を図り、相互に補完するよう実施している。

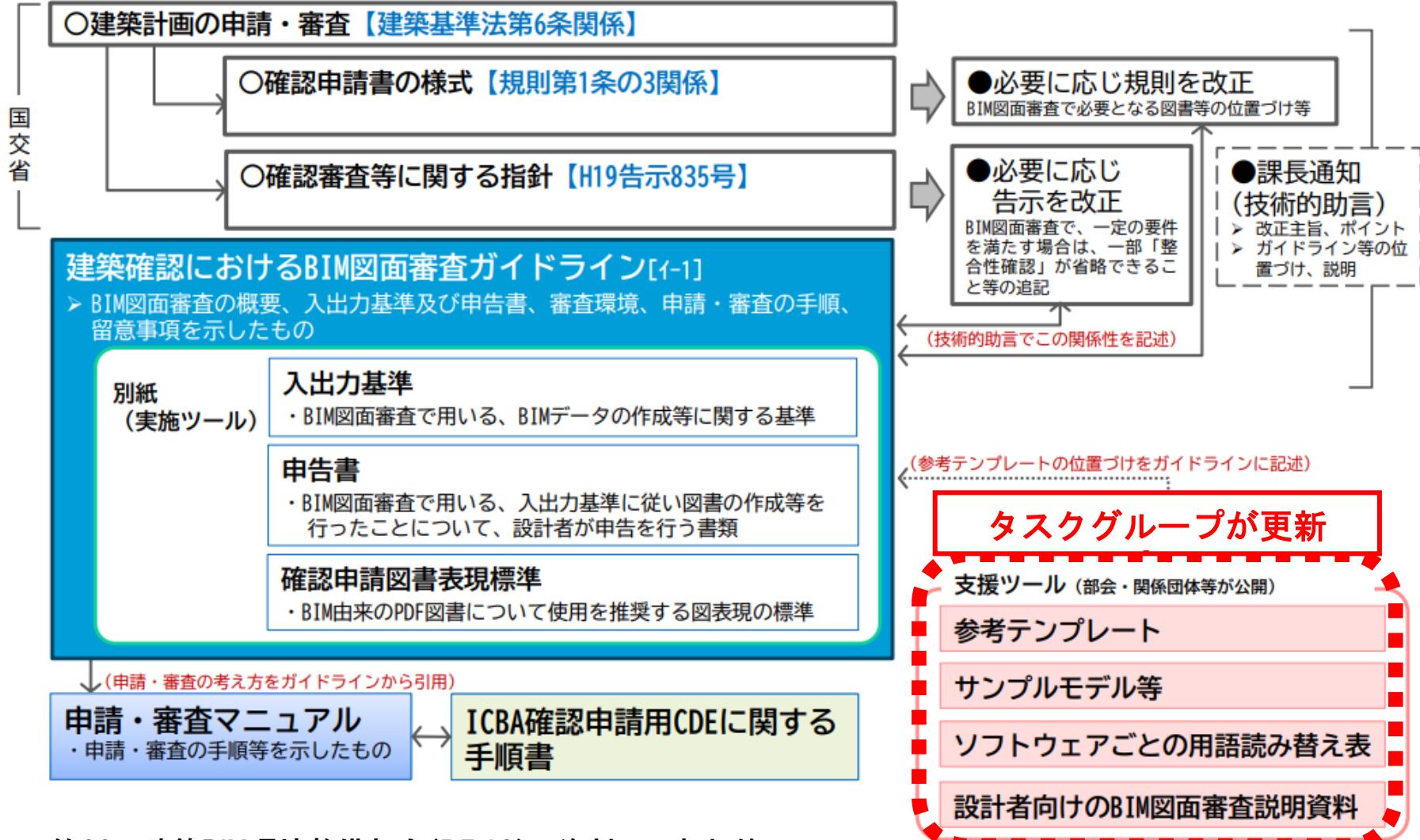
2. 2025(R7)年度活動計画

	4月-6月	7月-9月	10月-12月	1月-3月
在り方部会	・BIMライブラリの試行結果の意見聴取 ・BIMライブラリの構築・運用の総括、活用方策の検討			
建築部会	・BIMオブジェクトの標準化の総括(建築領域) ・標準Ver. 2.0の整理・拡充/・メーカー等への普及			①標準Ver.2.1 の公表・説明
設備部会	・BIMオブジェクトの標準化の総括(設備領域) ・標準Ver. 2.0の整理・拡充/・メーカー等への普及			
運用部会	・関連規約、知的財産権の総括			②総括報告書の作成
連携部会 (テーマ4含む)	・設計から維持管理までの円滑な情報伝達の総括 ・周辺領域の技術開発の情報収集の総括			
BIM図面審査 タスクグループ	・BIM図面審査に関する設計者支援ツールの改良等			

建築BIMによる設計環境整備調査

BIM図面審査の開始に向けた

■ ガイドライン・マニュアル、各種ツールの位置づけ



第22回建築BIM環境整備部会(R7.10)の資料に一部加筆

建築BIMによる設計環境整備調査

- ・ 設計者が参照できるサンプルモデルについて、RC造3000m²庁舎モデルを追加したほか、申告書の書式や参考テンプレートなどを適宜更新している。
- ・ サンプルモデル（事務所モデル、庁舎モデル）については、意匠、構造、設備を合わせ、11月20日現在で1万件を超えるダウンロードがある。



BLCJ

トップページ トピックス ▾ 活動内容 ▾ 組織概要 ▾ 組合員ページ アクセス ▾ 検索

ホーム / BIM図面審査サンプルモデル

BIM図面審査サンプルモデル

●配付中のファイル一覧

BIMソフトウェア	S造1000m ² 事務所モデル				RC造3000m ² 庁舎モデル		
	サンプルモデル	参考テンプレート	PDF出力例	申告書記入例	サンプルモデル	PDF出力例	申告書記入例
意匠	Revit 2022	○	○	○	○	○	○
	Archicad	○ (Archicad26)	○	○	○	○ (Archicad27)	○
	Vectorworks 2024	○	○	○	○	-	-
	GLOOBE 2025	○	○	○	○	-	-
	参考IFC	○				○	
構造	Revit 2022	○	○	○	○	○	○
	参考IFC	○				○	
設備	Revit 2022	○	○	○	○	○	○
	Rebro	○	○	○	-	-	-
	CADWe'll T-fas/Linx	○	○	○	-	-	-
	CADEWA Smart	○	○	○	-	-	-
	FILDER CEED	○	○	○	-	-	-
	参考IFC	○				○	

建築BIMによる設計環境整備調査

設計者を主たる対象として

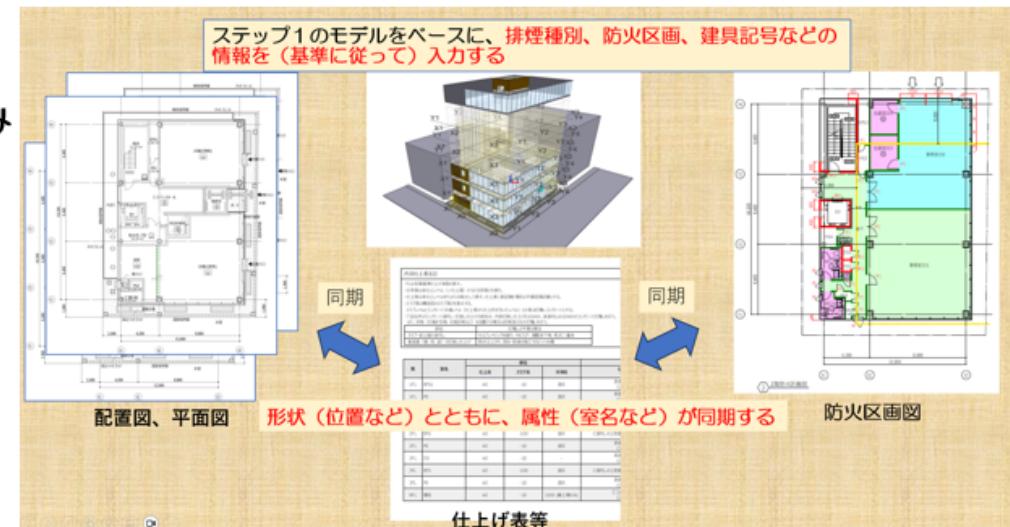
「BIM図面審査の講習動画(設計者向け)」(Youtube版、PPT版)を作成し、BIMライブラリ技術研究組合のホームページで**11月末に公開した。**

「BIM図面審査に関心を持っていただくこと」を目的とし、BIM図面審査に取り組むにあたってのヒントなど、**実務に役立つ内容に重点を置いて**いる。

【コンテンツ】

1. BIM図面審査の位置づけ、ねらい
2. BIM図面審査のコンセプト、基本的な仕組み
3. 設計者にとってのメリット
4. 「BIM図面審査」導入のヒント
5. 申告書作成のポイント
6. BIM設計の留意点など

【スライドの一部】



1. BIMオブジェクトの標準化

・標準Ver. 2.0については、検討・整理、対象範囲の拡充を行い、BLCJ BIMオブジェクト標準Ver.2.1として整理し、2026年2月に公表と説明会の開催を予定している。

[建築]

・建築では、標準Ver. 2.0で示した窓、ドア、シャッター、衛生器具、エレベーターに加えて、新たに空間オブジェクトに関する標準を加え、実業務での利用をより円滑にすることに努めた。

[設備]

・建築確認に必要なオブジェクト・項目等の拡充(電気設備が主)

■ 標準Ver. 2.0(建築分野)を見直し、対象範囲を拡充し標準 Ver.2.1へ(2026年2月公表)

意匠 建具/機器

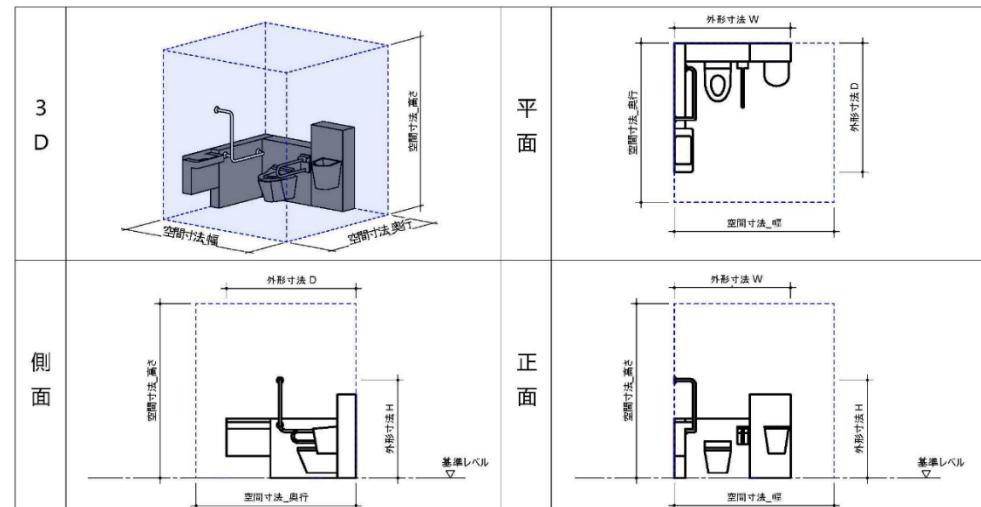
- 標準Ver. 2.0(改定2版) (建築意匠) の見直し
名称ルールの整理・表現の統一 / 対象範囲の拡充、属性項目の追加
- 標準Ver.2.0 ((改定2版)を見直し、標準Ver2.1とする

意匠 空間オブジェクト

- 新たに標準Ver. 2.1 属性項目リストと仕様解説書を追加
企画・設計から維持管理までの建物LCマネジメント情報・管理情報の蓄積・フィードバック追加検討
ユースケースに対応した情報整理し、BIMの特徴を生かした情報の見せ方も検討

グループ	属性項目名	タイプ	説明・備考	利用場面
8-3. パラメータ解説				
建築計画	階	floor		S0 S1 S2 S3 S4 S5 S6 S7 空間オブジェクト
建築計画	室名	Room name		部 部 部 部 部 部 部 ボリューム 屋屋屋屋屋屋屋
建築計画	容積	Chamber volume		() () () () () () ()
建築計画	要求面積	requested area		() () () () () () ()
建築計画	要求面積判定	Required area determination		() () () () () () ()
建築計画	床仕上レベル	Level of floor finish		() () () () () () ()
建築計画	床仕上	floor finish		() () () () () () ()
建築計画	床下地	Base		() () () () () () ()
建築計画	幅木仕上	Baseboard finish		() () () () () () ()
建築計画	幅木高さ	baseboard height		() () () () () () ()
建築計画	幅木長さ	baseboard length		() () () () () () ()
建築計画	壁仕上	wall finish		() () () () () () ()
建築計画	壁下地	wall base		() () () () () () ()
建築計画	壁面積	wall area		() () () () () () ()
建築計画	天井仕上	ceiling finish		() () () () () () ()
建築計画	下地	Base		() () () () () () ()
建築計画	廻縁	connection		() () () () () () ()

上：「空間オブジェクト」属性項目リスト (抜粋)
右：標準Ver. 2.0改訂2版仕様解説書 (抜粋)



1. BIMオブジェクトの標準化【建築分野】

■ 標準Ver. 2.0(建築分野)を見直し、対象範囲を拡充し標準 Ver.2.1へ(2026年2月公表)

構造

- 構造標準 改訂6版 向けた検討
新たに免震装置、構造スリットを追加 / 標準化TFリストの要素を含む修正を実施
- カタログサイトの構築の方法について検討 ⇒活動報告書で報告
業務効率化に繋げる観点から、カタログサイトのメンテナンス性等の問題の解決のために運用の在り方、方法を具体的に検討（例：既存の大蔵認定品のデータベースの活用）

情報活用

- 標準Ver. 2.0実装検証 (Revit / Archicad) ⇒活動報告書で報告
実際に標準Ver. 2.0の属性情報をオブジェクトに適用し、手順や問題点を考察

部材の種類	パラメータの分類			BLCJ標準					備考	
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報		
構造スリット	識別情報	符号		name	String	○			構造標準「免震装置（円型積層ゴム支承）」/「構造スリット」	
		製品型番1		product_code1	String	○	製品型番1とリリース時期1			
		リリース時期1		release_time1	String	○				
		製品型番2		product_code2	String					
		リリース時期2		release_time2	String					
	配置情報	製品型番3		product_code3	String					
		リリース時期3		release_time3	String					
		ホスト		host	String					
		オフセットX		offset_X	Double					
		オフセットY		offset_Y	Double					
解析情報	配置方向			direction	String					
	解析で使用するか否か			isCalculation	Boolean					
	寸法情報			B	Double					
	配筋情報			D_anti_sway	String					
	振れ止め筋			pitch_anti_sway	Double					
	性能情報			種類	kind_slit	String				
	スリット性能									
	耐火性能			試験方法	test_method_fire_resistance	String				
	水密性能			性能	performance_fire_resistance	String				
	遮音性能			試験方法	test_method_watertightness	String				
利用者情報	性能			性能	performance_watertightness	String				
	変形性能			試験方法	test_method_sound_insulation	String				
	適合基準			性能	performance_sound_insulation	String				
	データ作成日			performance_deformation	String					
	特記事項			creation_date	Date					
特記事項			remarks	String						

■標準Ver. 2.0(設備分野)を見直し、標準 Ver.2.1へ(2026年2月公表)

主な修正点

- ・ 前年度の標準化TFにおける検討内容の反映
必須・推奨項目を精査（建築確認申請上必要な項目、概算で必要な項目の追加など）
 - ・ オブジェクトデータの設備BIMソフトへの実装を念頭においた仕様の調整
 - ・ 汎用的に扱えるパラメータを位置づけ、値の入力ルールを共通化

BLCJ「設備」仕様属性一覧Ver2.1 設備・電気

カテゴリー別パラメータリスト 設備・電気

■各社の設備BIMソフトにより作成したモデルを用いて、意匠モデルとの情報連携を検証した。

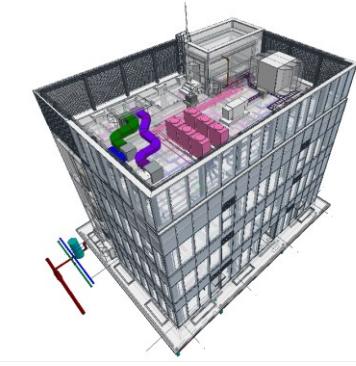
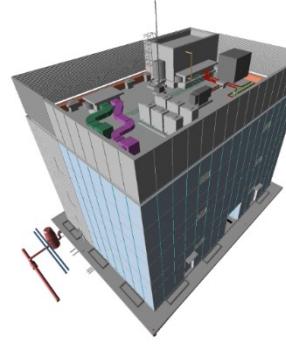
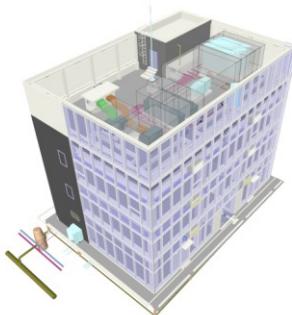
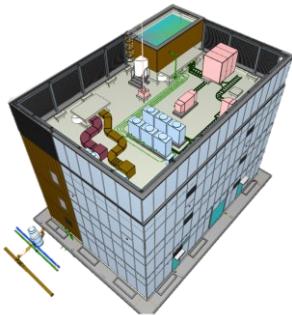
Revit

Rebro

CADWe'll Tfas/LinX

FILDER Ceed

CADEWA Smart



■意匠モデルと設備モデルが ①同一ソフト上でデータ連携する場合 ②IFCやCADデータを介して連携する場合の 2つの場合について検討した。

【「室名」での検討例】

意匠BIMモデルの「室名」が ⇒ 設備BIMモデルから出力した ⇒ 機器表にも出力される
図面に反映され

